

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 158 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2024 年 12 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

朝夕の冷え込みはぐ〜〜んと晩秋！

11 の定例作業日 (11/26) は

朝方は冷え込みましたー。

陽の出直前の畑は霜で真っ白……。お太陽が当たると暖かいです。ちょっとでも陰ると風が冷たく感じる、そんな作業日でした。

当日の参加者は 19 名。常連の 3 名が欠席にもかかわらず、下安松からの初参加の方 1 名、企業からの参加の方 2 名で、久々の大人数!!

林内班 11 名は、築山西側・第二駐車場東側付近の整備。

ゴミ班は、「湿地がきれいに草刈されている」との三浦さんからの情報を得て、久々にゴミ拾いに専念。巡回コースは、東西通り～県道沿い～開発～桜木神社通り～湿地～霊園通り～桜木神社通り～第二駐車場～旧管理棟。コース記号は、イ-K-L-1-F-G-O-(0' -)a-P-E-S-R-C-ロ-C-U-C-B-W-b' -b-g-g' -A-d-N-K となります。

なお湿地は、枯れ草をかき分けると湿り気がありました。



[11/26 集合写真]

まずはゴミ班の水島さんからの報告・感想です。

『2ヶ月ぶりのカルチャーパークでした。

木々は色付き始めていて落ち葉を踏みしめながら、季節の移ろいを感じて豊かな気持ちになります。

カルチャーパークならではの思いを強くしました。

数カ月振りのゴミ拾いだど気合を入れて歩き始めましたが、狭山線に出てもほとんど見つかりませんでした。

聖地霊園の入り口までの往復の道、桜木神社周辺、そして第 2 駐車場までもさして見つからず「所沢市民のマナーが向上したのかな、このままずっと続いて欲しいな」と思いながら歩いていました。

途中湿地で皆で一緒に一休み、きれいに刈り取られた景色は壮観でした。

真ん中に立っている桜の木もその存在がはっきり見えて嬉しくなりました。

来年 4 月になれば緑の葉を付けて、桜の花が咲いている景色をおもいめぐらして、湿地を後にしました。』



[11/26 刈り込みされた湿地]



[11/26 湿地の桜]



[11/26 ゴミ班集合]



[11/26 ゴミ集約]

次いで、林内班の三浦さんからの報告・感想です。

『最低気温 2 度と今年一番

の冷え込みで、出かけるのが躊躇われた・・・が、眩しいくらいの太陽の日射しと青空に、背中を押されるように出かけた。

途中気になっていた湿地帯に蔓延っていた『セイタカアワダチソウ』の状況を見るため立ち寄ってみるが、既に一帯は刈り払われており綺麗になっていた。前回ゴミ収集班が悪戦苦闘して、なお処理しきれずに残っていた景色が嘘のようだ。

その後湿地帯から集合場所に向かう園路を通ったが、ここも綺麗に刈り払いがされていた。ただ所々に「ナラガレ」し葉もなく小枝も無いほぼ白骨化したような太い幹だけが天をつくように残骸を晒しておりその姿は痛々しい。

僅かここ数年間に老齢化したコナラを中心に「カシノナガキイムシ」により全滅に近い被害に遭い一部は伐採などの処理がなされたものの、未だに枯れた姿のまま残っているのは気懸りだ。

何十年もの歳月この森の中心的存在感をもたらしてきた老樹とはいえ、突然の害虫の襲来により不本意にも生を絶たれた無念さのこの老樹達に思いを馳せるなら感謝の思いを持ち労って優しく葬って欲しいものだと晩秋の感傷さえ感じてしまった。

この日集まったのは、市の広報で初参加の女性1名、M

企業から2名加わって19人だ。この日の朝の挨拶は殆どの人が共通して「今日は寒いね！」だった。歳を重ねると寒さが身にしみると聞くがそんな実感だった。

班分けではゴミ収集班8名、林内班は11名の態勢。ゴミ収集班は予定では、前回に引き続きセイタカアワダチソウの除去だったが既に済んでいたことから急遽ゴミ収集に集中することによってスタートした。

林内班は前回と同じ第二駐車場近くに休憩地を設けた。

作業は前回に続き園路と林の境界付近だったがさらに奥方向に向かう事にした。ここには『アカメガシワ』の群生が残っているので人力班は鎌や鋸、刈り込み鋏を持って着手、刈り払い機3台組は一帯の笹や蔦、低い藪の刈り払いとなった。

休憩を含め1時間半の作業だったが林の前面を塞いでいたアカメガシワの群落が無くなり林の奥が一望に見えるように開け「ビフォア・アフター」は一目瞭然。途中日射しも強くなり気温の上昇もあって汗ばんだ人も出たようだが夏の季節とは違うこの季節の汗もまた格別だとの声も出るくらい気持ちが良いかったらしい。

今年は例年がない雨が多く降った影響で雑草や低木の伸長が特に目立った。一寸でも

手をかけないで放置するとかくも伸び、荒れるものかと思った。その違いが明らかに比較できる場所がある、我々が春一番に手を入れた場所と隣接したボーイスカウトの活動予定地であるその違いは誰の目にも明らかに映るに違いない。』



[11/26 林内班集合]

~~~~~

### 11月の第二業日(11/12)は、

秋晴れ!! 作業に向かう時は弱い北系の風が吹いておりましたが、次第に南系の風にかわりました。

当日の参加者は15名。

林内班8名はB-1～2区域での下草刈りなど実施。



[11/12 集合写真]

林内班の三浦さんからの報告・感想です。『気温9度と一寸肌寒く感じたが時間の経過とともに日射しも強くなり薄ら汗ばむ程の陽気となった。

最高気温21度の予報だが晩秋らしさも漂う。

今年は各地の紅葉の名所も何時もの年より遅いとの報道



があったが、カルチャーパークの森も例外で無くようやく紅葉らしさが垣間見られる程度。師走が目前だがこのままでは本格的な紅葉は見られないかも知れない。葉が黄色や赤になりきれず茶色に枯れてしまい紅葉どころか落葉を見ることになるかもしれない。

まだある、今年は春夏秋冬のメリハリのある季節感が感じられず寒さと暑さだけが強烈で、日本独特の快適な春と秋の季節感を覚えていないくらいの異常な年だった。

第二活動日のこの日、久々の秋らしい陽気に誘われてか16人と何時もより多く集まった。班分けはゴミ収集7人林内班9人の構成となった。林内班の作業地は原っぱ広場のローラー滑り台の処「河津桜」の植栽されている場所の反対側の一面から第二駐車場に至る右側、園路と林の境界に張られているロープ柵の内外の雑草や灌木や笹類の刈り払いをすることにした。

着いてみると、案の定第二駐車場近くの林の前面には「アカメガシワ」という落葉小高木が広範囲に繁茂しており奥が見えない位に成長していた。春の若芽が紅色でありカシワのような葉が名の由来だが実は結構厄介な代物らしい、雑草だと思って油断していると5～10mの高さになってしまうようだ。

何処にでも勝手に生えてく

る厄介さを持つアカメガシワ対策は、大きくなって抜くのが大変になる前に抜くこと、抜けない場合は鋸などで根元から伐採すること。これまで「オオブタクサ」や「セイタカアワダチソウ」に悪戦苦闘してきた我々にとって新たな敵の出現だ。

刈り払い機3台で下刈り、他は人力によるアカメガシワの伐採が主な作業となった。雨が多かったせいか例年に比して雑草類の成長が著しかった。

この日ゴミ収集班は。湿地帯に群生している「セイタカアワダチソウ」の除去に向かったが、途中で難儀していると聞き林内班から二人刈り払い機を持って応援に駆けつけた。背丈は高くないがその多さに苦戦を強いられたと後で聞いた。

これまでも小規模な「セイタカアワダチソウ」は人力で何か所かで除去してきたが、大きな規模になるとそう簡単にはいかない。実際引き抜く作業をしてみると判るが容易でないのだ。背丈が小さいからと侮るととんでもないばかりか誤ると腰を痛める危険性さえあるくらい厄介なのだ。花が咲き種子の出来る前に根元で切れば良いかと思ったがそうでは無く根元で切っても根茎が残っておればドクダミと同じで根茎同士が繋がっている所以翌年には再び芽を出

すので根絶にはならない。種子と根茎で繁殖するのでオオブタクサ同様根絶には4、5年根気強く立ち向かっていかないと無理のようだ。我々の年齢からして果たして根絶出来るだろうか！と自身の年齢と重ね合わせ考えさせられた作業日だった。』



[11/12 林内班集合-1]



[11/12 林内班集合-2]



[11/12 林内作業-1]



[11/12 林内作業-2]

湿地班7名+2名(後半、林内班から応援)は、前回に続き湿地にてセイタカアワダチソウの除去作業等を実施。まだまだ続きかな～？



[11/12 湿地班集合]



[11/12 湿地班作業-1]



[11/12 湿地班作業-2]



[11/12 湿地班作業-3]

ヤヤッ!! ゴミの集約写真を  
撮り忘れちゃった～～。

(ミッチャン記)

## 12月の作業予定

最終作業日:12月12日(木)

作業時間\_9:30~11:30

\*作業内容:

ゴミ拾い・林内作業

\*持ち物:手袋、タオル、雨  
具、飲み物、念のため、保  
険証・お薬手帳など

荒天など天候不順の場合  
は、事前に中止連絡しま  
すが、微妙な場合現地にて判断  
します。

判断に迷うときは、深澤ま  
で[090-8014-3310]連絡下さ  
い。

12/24(火)は、現地作

業なし

応援隊きらくな懇談会

10時～

生涯学習推進センター

102会議室

12時～ 忘年会

「ちとせ」

1/13(月・休)未来会議イベン

トに向けて、「バイオネスト  
の見本づくり」を11/30に行  
いました。



[11/30 バイオネスト造り-1]



[11/30 バイオネスト造り-2]



[11/30 バイオネスト]



[11/30 作業参加者]



### 2025年1月以降の作業予定日-

1/14(火) 1/28(火：定例)、2/11(火・休) 2/25(火：定例)、  
3/11(火) 3/25(火：定例)、  
3/中～下旬：応援隊総会的懇談会  
4/15(火) 4/29(火・休：定例)、5/13(火) 5/27(火：定例)

### 各種感染症注意!!

コロナをはじめとして、インフルエンザや各種感染症が流行しています。手洗いなどの感染対策とともに、日常からの、「バランスのとれた栄養補給」「適度な運動」「快適な睡眠」などで、しっかりと体調管理をしましょう。

### コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナウイルスは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

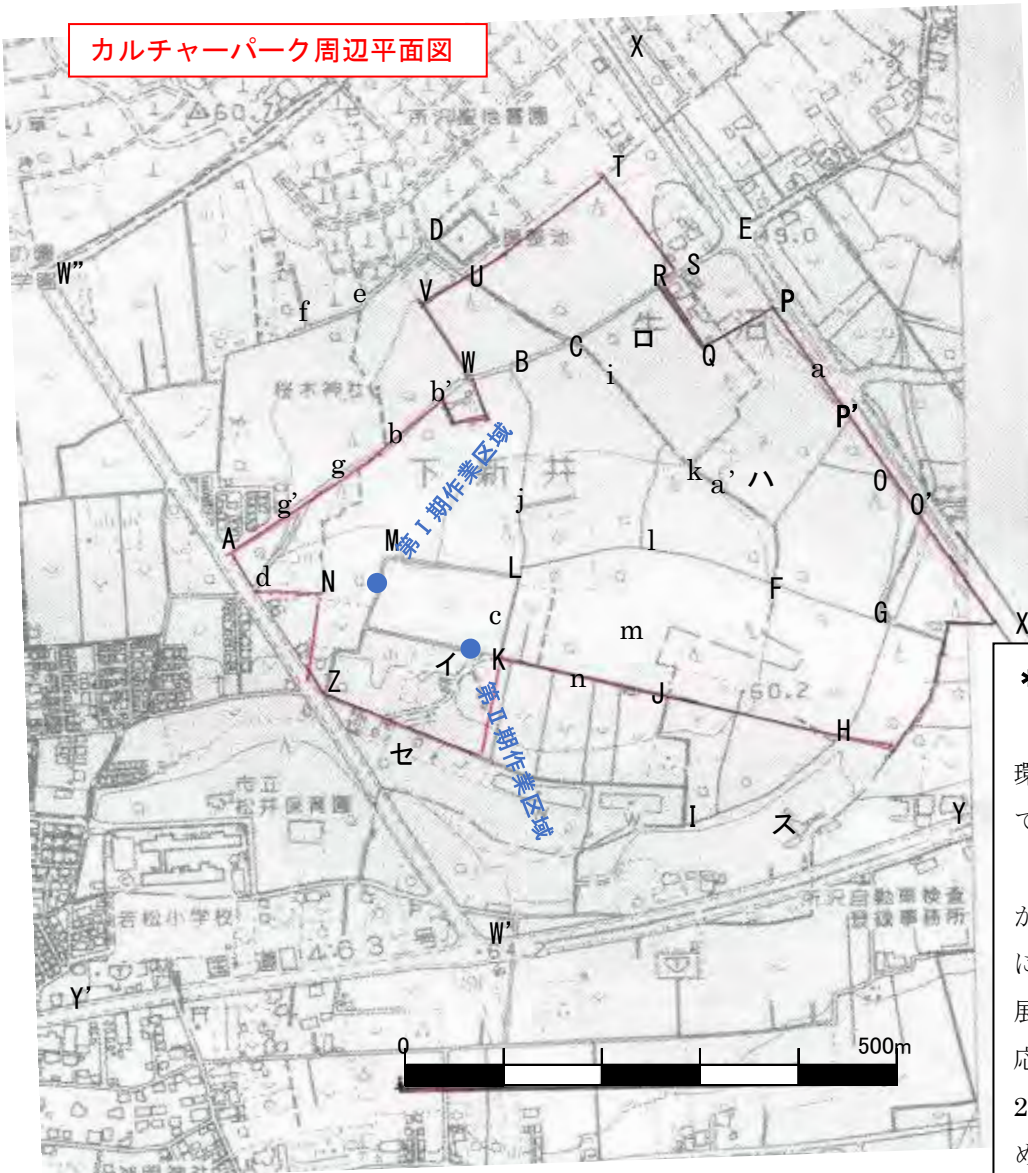
#### 新型コロナウイルス発生時の対応

- ①毎回参加者名簿を作成する（三浦さんがつけている出欠簿による）。
- ②次の場合その都度、代表へ連絡する。（発信元は伏せて参加者に知らせる）  
イ. 症状があり、検査を受けた時。  
ハ. 検査結果と医師・保健所などの指示があったとき。
- ③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

#### 感染予防対策、

- ・ 間隔をとっての行動。（体操・作業）
- ・ マスク着用：各自の判断とします。
- ・ 作業間隔の短縮・水分補給。
- ・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用（特にゴミ拾い）。  
なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

|                          |           |                  |
|--------------------------|-----------|------------------|
| 地点名                      | イ         | 現在のデイキャンプ場       |
|                          | ロ         | 湿地               |
|                          | ハ         | 現在のサッカー場         |
|                          | セ         | 特養、グループホーム       |
|                          | ス         | 産 廃              |
|                          | E         | 交差点「開発」          |
|                          | W'        | 交差点「牛沼」          |
| 通り名                      | X-E-X'    | 県道東京狭山線          |
|                          | W'' -A-W' | 市道 カルチャーパーク通り    |
|                          | Y-W' -Y'  | 国道               |
| 園内通り名<br>(仮称の<br>たたき台です) | A-B-C-E   | 桜木神社通り           |
|                          | D-C       | 霊園通り             |
|                          | C-F       | サッカー場通り          |
|                          | B-L-K     | 中央通り             |
|                          | L-F-G     | 東西通り(L-F:フラワー通り) |
|                          | G-H       | 東通り              |
|                          | K-J-I     | 農道               |
|                          | I-H       | 産廃裏通り            |

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。  
皆さんからの御意見をお寄せください。

### \*この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

### 定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

**追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。**

### \*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。